

山陽小野田市議会

平成28年3月議会 議会報告会

プログラム

- * 開会挨拶
- * 3月議会の報告
 - 総務文教常任委員会
 - 民生福祉常任委員会
 - 産業建設常任委員会
 - 一般会計予算決算常任委員会
- * 質疑応答

総務文教常任委員会

議案第23号 平成28年度山陽小野田市
小型自動車競走事業特別会計予算に
ついて 他 計 議案20件

山陽オート特別会計予算



概要

- ・ 歳入歳出予算総額 84億9949万2000円
- ・ (歳入) 勝車投票券発売、場外発売事務協力など
- ・ (歳出) 包括的民間委託料、勝車投票券払戻金など

明らかになったこと

- ・ オートレース宇部が開設され、売上増となっている
- ・ 船橋オート閉鎖により、本場開催日数が2日増えた
- ・ 第2、第5駐車場の借地料は毎年約600万円

結果 ・ 全員賛成で可決



医業費用【給与費、材料費、経費など】

41億3,723万6,000円(5,436万9,000円増)

医業外費用【支払利息、消費税など】

1億7,434万6,000円(1,970万7,000円増)

費用: 43億1,359万2,000円(6,007万6,000円増)

単年度純損失: 1億4,439万3,000円

● 主な論点

* 入院患者数と外来患者数の根拠は

➡ 達成可能な人数で設定



* 病床稼働率83.7%は目標として低すぎる

➡ 診療所を回るなど努力する

* 減価償却費4億8,000万円を消化するには稼働率アップが必要では

➡ 医療機械を単年度で12億円購入
5年間は稼働率95%必要
その後は90%近くあれば積立できる

● 主な論点

* 入院及び外来患者予定数で資金不足の負債は残っていないか

➡ 28年度以降不良債務が出ない計算

* 病院改革プランを確実にやっていくと認識してもOK?

➡ そのような形で計画



* まず先に内部評価をすべき

➡ 内部評価は当然必要 議会に提出したい

● 主な論点

* 里帰り出産にマタニティブックスタートの導入は

➡ 導入したい 積極的に進める

● 結果 全員賛成で可決

附帯決議を可決

附帯決議

1. 当初からの赤字予算の計上は好ましくない。これは病床稼働率の設定が甘いと考える。については半年後にも上方修正の補正が上程されるよう経営努力すること。
2. 経営会議の内容を定期的に報告すること。

以上の内容を全員賛成で可決



質疑応答

- * 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。
- * 質問は一問一答で行います。
- * 質問内容は簡潔にお願いします。

産業建設常任委員会

議案第5号 平成27年度山陽小野田市
下水道事業特別会計補正予算(第3回)に
ついて 他 計 議案14件

駐車料金値下げの条例改正

● 概要

以前から議会や市民の強い要望があり、厚狭駅南口駐車場料金を値下げするもの。特別会計が一時的に赤字となっても、利用者が値下げを実感できる料金とした。

● 主な論点

- ・ 29年度までは料金収入減と償還金のため赤字だが、32年度には返済終了見込み。
- ・ 利用率は平均すると53%である。
- ・ 送迎用駐車場の活用は内部で協議中。

● 結果 全員賛成で可決

厚狭駅南口駐車場料金比較表

(単位:円)

駐車時間	0~1h	1~2h	初日 24h	以降 24h	48h 料金	2日目 (24h) 以降
現行	100	200	1,000	1,200	2,200	1時間毎 に50円
改正	0	100	500	400	900	6時間毎 に100円
差額	△100	△100	△500	△800	△1,300	

	定期	プリカ 1,000	プリカ 3,000	プリカ 5,000
現行	8,000	1,100	3,300	5,500
改正	4,000	1,100	3,500	6,000
差額	△4,000	0	200	500



質疑応答

- * 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。
- * 質問は一問一答で行います。
- * 質問内容は簡潔をお願いします。

一般会計予算決算常任委員会

議案第1号 平成27年度山陽小野田市一般会計補正予算(第4回)について

議案第15号 平成28年度山陽小野田市一般会計予算について

計 議案2件

平成28年度一般会計予算

予算総額 286億7,400万円

前年度比 +38億6,900万円(+15.6%)

○ 増額の主な要因

公立大学法人山口東京理科大学運営事業
22億6,250万円

- ・ 運営費交付金 (8億5,000万円)
- ・ 薬学部校舎建設 (2億210万円)
- ・ 運営基金積立 (12億1,040万円)

○ 審査方法

主要事業として27事業を中心に審査

○ 主な審査事業

- ・ ふるさと山陽小野田応援事業
- ・ 子育て総合支援センター整備事業
- ・ 埴生小・中学校整備事業
- ・ 埴生地区複合施設整備事業

**1 ふるさと山陽小野田応援事業
(サポート寄附返礼品送付事業)**

○ サポート寄附とは？

- ・ 平成20年4月からスタートした「ふるさと納税」
- ・ 応援したい自治体に対する寄附

○ これまでの本市の返礼品

- ・ 市長のお礼状、サポート大使認定証
- ・ 市広報紙、ふるさとだより など

○ 議会からの要請(平成27年3月議会附帯決議)

ふるさと納税の拡充を図り、観光振興にも結びつけ、
もって情報発信に資すること。

○ 事業概要

- ・ 目的 サポート寄附の更なる推進
自主財源の確保
地元特産品等の販路拡大とPRの促進

└─ 市内産業の活性化に寄与

- ・ 特産品等の返礼品を送付
市内で製造、販売等が行われている地元特産品
地元事業者が提供するサービスなど
幅広く魅力ある商品を募集
- ・ 初年度目標 寄附件数 500件
寄附金額 1,500万円

○ 審査概要

特産品をアピールする必要があるのでは。

└─ カタログ作成、全国ポータルサイト掲載
観光課等と連携し、新特産品開発

意見

議会側からも更なる拡大を要請し、進んだことは評価。

改善しながら実施してほしい。

2 子育て総合支援センター整備事業

○ 事業概要

- ・ 妊娠期～子育て期の相談支援をワンストップ
- ・ 子育て世代が主役となる拠点を整備
- ・ 旧労働基準監督署を購入・改修
(議会提言)大型ショッピングセンター内で
↳ 面積が足りない。
- ・ 28年度事業費 8,386万6,000円

用地・家屋等購入費 8,026万6,000円
改修工事実施設計委託料 300万円など



○ 審査概要

子育て支援センターの連携を図る中心的、総合的な拠点とのことだが、具体的には。

- ↳ 全体の連携を図る拠点
各施設の状況把握・情報共有も行い、
事業の向上を目指す。

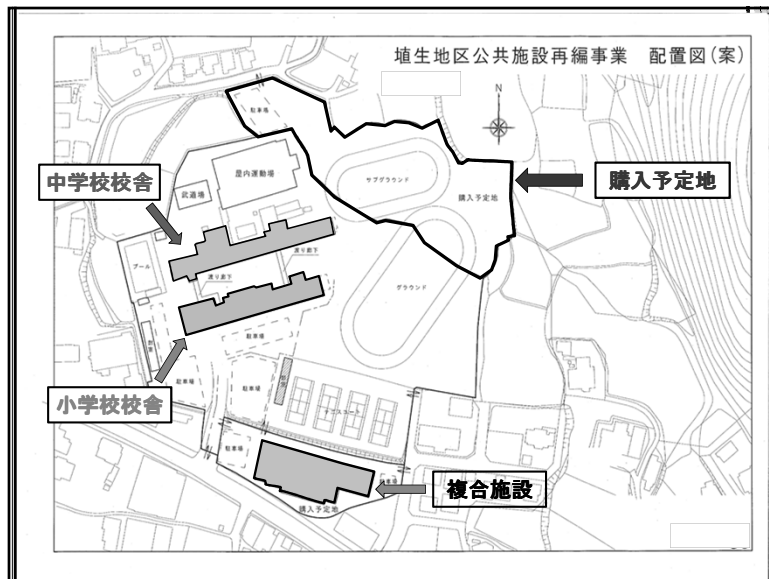
休館日は、いつでも自由に行けるコンセプトで

- ↳ できれば土日も開館
子育て世代の人を対象にアンケートを
取って、実施設計などに反映

3 埴生小・中学校整備事業

○ 事業概要

- ・ 市内学校で唯一耐震化されていない埴生小
- ・ 埴生中用地を拡大、埴生小校舎新築・埴生中校舎改修、小中一体型の学校施設
- ・ 事業期間は、28年度から32年度までの5年間
- ・ 総事業費は、約18億7,000万円
- ・ 約6,400㎡の土地取得、サブグラウンド、遊具、駐車場などを整備
- ・ テニスコート一部を駐車場にして、複合施設利用者にも開放
- ・ 駐車場の周囲にフェンス設置
国道から校門まで歩車分離用フェンス設置



○ 審査概要

駐車場は学校関係者だけか

↳ プール手前の駐車場は複合施設の
利用者も利用

複合施設が隣にあるメリットは？

↳

- ・ 縦系は9年間の学校教育
- ・ 横系は地域の方の愛情
- ・ 学校が第2公民館、公民館が第2学校
- ・ 垣根を越えた授業展開を実現する上でのアドバンテージ

学校と公民館が離れているため、
うまく連携ができていない例はあるか。

↳ 山陽小野田市は山口県でも非常に
進んでいるが、近くにあると、よりうまくいく。

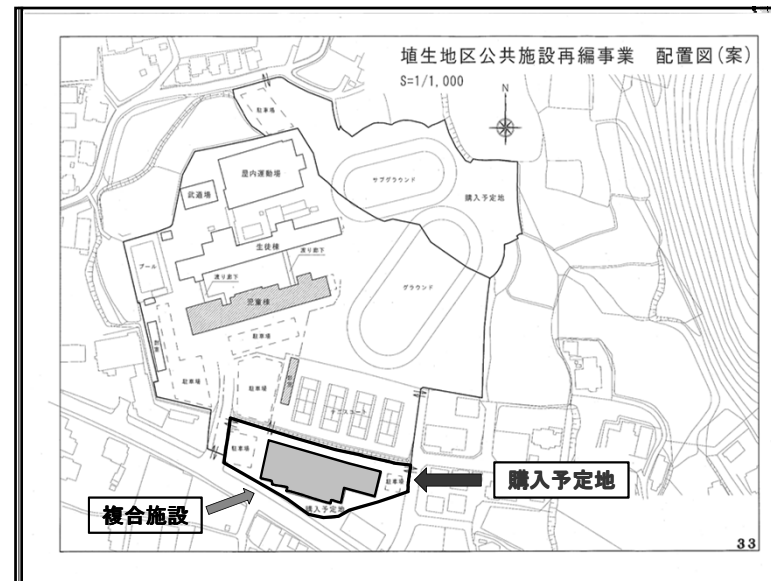
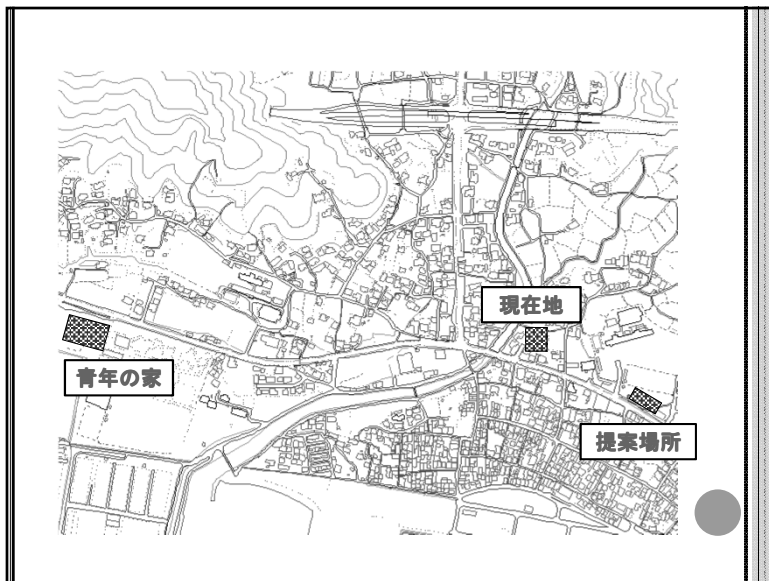
公共施設が学校敷地内にあるようなもので、
子供たちを守る点からどう考えているのか。

↳ 安全面は最大限配慮していく。

4 埴生地区複合施設整備事業

○ 概要

- ・ 平成27年11月まで、14回の地元意見交換会
- ・ 埴生中学校南側の民有地2,776㎡を取得
- ・ 支所、公民館、児童クラブ室の3つの機能
- ・ 学校を核とした地域創生を進めていくうえで、
大きな教育上のアドバンテージ



- 事業全体の工程・・・32年度までの5年間
28年度 用地取得・地質調査・基本設計
31年度末 開館

- 28年度予算 6,258万5,000円

用地購入費 3,836万1,000円
測量調査委託料 148万円
家屋補償費用 269万5,000円
地質調査業務委託料 825万円
基本設計業務委託料 729万円 など

- 財源
合併特例債、地域活性化事業債、
まちづくり魅力基金など

○ 審査概要

収容最大人数200人を想定、駐車場15台で
大丈夫か。

➤ 学校側の駐車場と現殖生公民館跡地の
駐車場で賄う。

当初の提案と位置や構想が変わっているが、
どう捉えたらいいか。

➤ 校区外の利用も含めた整備から、小中連
携校と隣接することで地域と連携
青年の家周辺の活用は、構想を練る中で
将来的なまちづくりにつなげる。

○ 自由討議

- ・ 複合施設建設の必要性
- ・ 青年の家周辺の建設場所

└─→ 委員から異論なし

- ・ 「住民合意」
- ・ 「埴生地区の将来構想」
- ・ 「小中学生の安全面」

└─→ 討議

○ 主な意見

- ・ 民意がどのように反映されたのか。埴生の将来のまちづくりの視点での議論がなかった。
- ・ 意見交換会を決定機関にして、おおむね合意とした。
- ・ 児童生徒の安心安全の点から、かなりのリスクがある。
- ・ 小中連携校と埴生の複合施設は、埴生のまちの核となるべき施設だ。これを中心に埴生のまちが発展していかなければならない。

○ 修正案

(内容)

埴生地区複合施設建設に係る用地購入費等を削除

(理由)

複合施設建設の必要性は、十分理解しているが

- ・ 場所決定の市民合意をどう捉えるかに疑問
- ・ 学校隣接地に建設する危険性
- ・ 将来を見据えた埴生のまちづくり

↓ これらの観点で建設場所を検討

青年の家周辺やオートレース場の駐車場などを視野に入れ、考え直してほしい。

修正案賛成

- ・ 一部の意見であり、市民合意ではない。
- ・ 疑問のある議案は、修正して議会がきちんと対応したほうがいい。
- ・ 提案されている場所では埴生地区のまちづくりの将来さえも語れない。

修正案反対

- ・ 合意は取れており、修正すると議会不信
- ・ 隣接することで地域と学校が密接な関係
- ・ 都市計画マスタープランと整合性が取れており、タイミングを失うと適切な財源が確保できない。

○ 結果 **賛成多数で修正可決**

平成28年度一般会計予算に対する附帯決議

1 地域通貨導入制度

予算額も少額で実効性に乏しいと言わざるを得ない。商業振興や消費喚起を促す上にも流通量の拡大を図ること。

2 公共交通のあり方

公共交通体系の早期の確立について、これまで何度も附帯決議として求めてきたが、スピード感に欠け、進展が見られない。早急に今後の公共交通のあり方について抜本的に改革を図ること。

3 地方創生の取組

地方創生には都市間競争に打ち勝つことが求められるが、本市の政策は独自性、積極性に欠けている感はない。もっと情報発信など攻めの行政を行うこと。

質疑応答

- * 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。
- * 質問は一問一答で行います。
- * 質問内容は簡潔をお願いします。

ありがとうございました

アンケートにご協力ください